

第1学年1組 国語科学習指導案

令和6年11月18日(月)第5校時
場 所 1年1組 教室
在籍児童数 男子10名 女子15名 計25名
指導者 教諭 小林 久乃

1 単元名・教材名

じどう車はかせになって、 じどう車ずかんをつくろう
「じどう車くらべ」「じどう車ずかんをつくろう」

2 児童の実態と本単元の意図

本学級では1学期に、教材文「つぼみ」で、説明的文章には「問い」と「答え」があることを学習した。児童は「問い」と「答え」を意識しながら、内容を読み進め、学習したことを生かして「つぼみクイズ」作りをすることで、説明的文章に慣れ親しんできた。

また「うみのかくれんぼ」では、海の生き物について「何が」「どこに」「どのように」かかれていると説明されている文章を読み、事柄の順序に気を付けて内容を捉えることを学んだ。「しらせたいな、見せたいな」では、気づいたことを順序を考えながら書く学習を行った。

1年「つぼみ」

- ・「問い」と「答え」を捉えて読む。
「うみのかくれんぼ」
- ・事柄の順序に気を付けて内容を捉えて読む。

1年「すきなこと、なあに」

- ・好きなこととその理由を、二文程度で書く。
「しらせたいな、見せたいな」
- ・対象を詳しく観察し、気づいたことを事柄の順序を考えて書く。

本単元

「じどう車くらべ」・説明の順序に気をつけながら読む。
「じどう車ずかんをつくろう」・説明の順序に気を付けて書く。

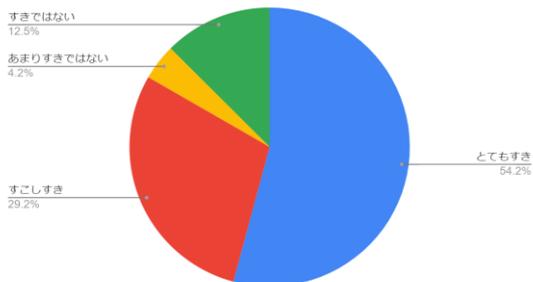
2年「紙コップの花火の作り方」

- ・順序を捉えたり、文章と写真を対応させたりして読み、大事な言葉や文を見つける。

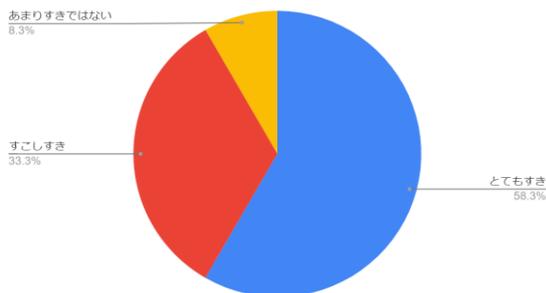
2年「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

- ・順序が分かるように、説明する文章を書く。

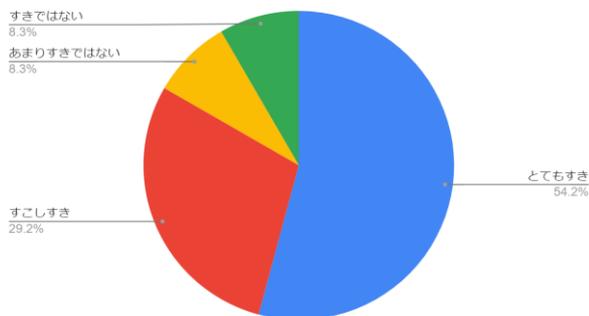
1 こくごは すきですか。



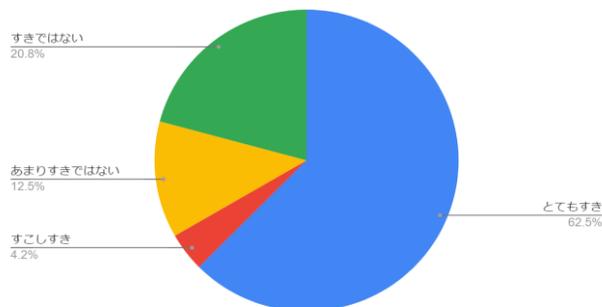
2 ものがたりぶんは すきですか。



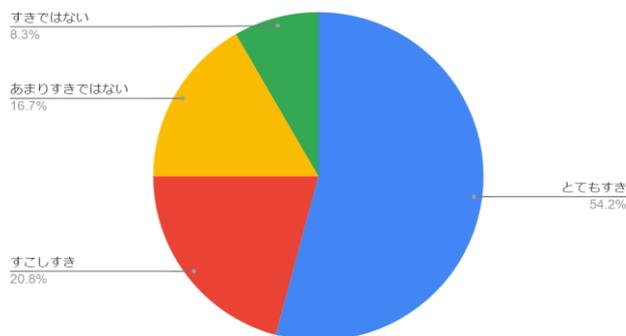
3 せつめいぶんは すきですか。



4 じぶんでかんがえて ぶんしょうをかくことは すきですか



5 ともだちがかいたぶんしょうをよむことは すきですか



アンケート結果からもわかるように、本学級の児童は物語文に比べて、説明的文章に苦手意識を抱いている児童が多い。説明文は言葉遣いが難しく、イメージを持ちにくく苦手意識をもっている児童が多いことが考えられる。よって今回は、教材文だけでなく動画や図鑑を使うことで、説明的文章が難しいと感じている児童の抵抗感を下げるように工夫する。

また、国語は好きだが自分で考えて文章を書くことがあまり好きではないという児童が4分の1強いる。理由は、何を書いたらよいかわからないからという意見が多かった。一方、友達が書いた文章を読むことは好きだと感じている児童が多い。その理由で最も多かった意見が、友達の考えが分かって楽しいというものであり、交流を好意的にとらえている児童が多いことがわかる。低学年では交流を通して、多くの意見に触れることが楽しい、という経験を多く味わわせていく。

本教材「じどう車くらべ」は、3種類の自動車を事例として取り上げ、それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を取り上げた説明的文章である。児童がよく知っている自動車から特殊な自動車の順に説明されており、児童が自動車を比べながら、興味をもって学習に取り組める教材である。自動車についての話題に始まり、問いがあり、それに対する答えを3つの自動車の具体例に沿って説明している。2つの「問い」と「答え」が並んだ列挙型の構成となっている。「答え」の内容は「(1) その自動車のしごと→(2) そのしごとに応じたつくり→(3) (2) のつくりを補助するつくり」の順に説明されている。「つくり」は「しごと」の内容に関わりの深いものから説明されており、「しごと」と「つくり」のつながりを示すために「そのために」という接続語が使われている。3つの事例は、類似的に説明されているため、説明の順序の共通点を見つけやすく、事柄の順序を理解しやすい。本単元では、〔読むこと〕と〔書くこと〕の学習が密接に関連し、単元が進むにつれて徐々に〔書くこと〕の学習に移行できるように複合単元としている。

本単元では以下の3点に留意して指導する。1つ目は、単元を通して「じどう車はかせになって、じどう車ずかんをつくらう」という言語活動を設定する。ここでいう「じどう車はかせ」とは「自動車の「しごと」とそれに関係する「つくり」を選んで説明している者」「根拠をもって図鑑にのせる自動車の順番を考えている者」と設定する。そうすることで、本教材を読む際に、必要感をもって事柄の順序を考えながら読むことができるのではないかと考える。2つ目は、事柄の順序など情報と情報を理解するために「しごと」と「つくり」を色分けする活動を設定する。その際に「○○はどんなしごとをしていますか？赤色で線を引きましょう。」という具体的な発問・指示から「○○の「しごと」と「つくり」を色分けしましょう。」という抽象的な発問・指示へと展開していくことで、自分で書く際に必要な「重要な語や文を選び出す力」を身につけさせる。3つ目は単元の4時間目に「今の力で書く」時間を設けることで、単元を通して「自らの学習を調整する姿」や「粘り強い取り組みを行う姿」が見られるようにする。そうすることで、自己の学びを意識化し、調整できるようにさせる。

3 単元の目標

- (1) 事柄の順序などの情報と情報との関係について理解することができる。
〈知識及び技能〉(2)ア
- (2) 事柄の順序などを考えながら、内容の大体をとらえることができる。
〈思考力、判断力、表現力等〉C(1)ア
- (3) 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
〈思考力、判断力、表現力等〉C(1)ウ
- (4) 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
〈思考力、判断力、表現力等〉B(1)イ
- (5) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝えあおうとする。
〈学びに向かう力、人間性等〉

4 単元で取り上げる言語活動

事物の仕組みを説明した文章を読み、分かったことをじどう車ずかんにまとめる。

5 研究主題について

自己の考えを広げ、表現する児童の育成

本校の児童の多くは、とても明るくしっかり挨拶ができており、外で元気に遊ぶ姿が多くみられる。一方で、苦手なことに粘り強く取り組むことができない児童もいる。また、語彙力が乏しいことから、自信をもって自分の思いを表現できない児童もいる。

それらの課題を解決するために学習に粘り強く取り組む中で、思考力、判断力、表現力を育むことを目指し、「自己の考えを広げ、表現する児童の育成」という研究主題を設定し、授業実践をすすめることとした。

なお、本校では、どの学習においても粘り強く学習に取り組ませるために、既習事項を活用し、自信をもって表現できるように児童間での交流の機会を設定するようにしている。

6 本単元の学習を通して目指す児童像

根拠をもって、自分の考えを友達に伝えることができる。

(1)手立て① 自己の考えをもつこと

1) 単元を通して児童が主体的に学ぶ学習課題の設定

単元を通して学習課題の設定を工夫することで、主体的に取り組むことができるようにする。

2) 授業展開（個人→グループ→全体→個人）の工夫

個人で考える時間を十分にとることで、自分の考えをもち、主体的にグループでの交流を行うことができるようにする。

(1)手立て② 表現すること

1) ペアトーク

授業や単元の中に簡単な話題で児童同士が話し合う時間を設ける。安心して自分の考えを伝え合える学習環境を醸成する。

2) 発問の工夫

授業や単元の中で時間（いつ）、場所（どこで）、理由（どうして）等を意識した発問を繰り返し行うことで、発問を意識した表現ができるようにする。

7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①事柄の順序やなど情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	①「読むこと」において、事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ②「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ) ③「書くこと」において、事柄の順序を考えながら簡単な構成を考えている。(B(1)イ)	①分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。

8 指導と評価の計画 (全12時間扱い)

時間	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	並行読書	
1	<p>がくしゅうけいかくを たてよう。</p> <p>○「はたらく車」の動画を視聴する。 ○既習の説明文(つぼみ、うみのかくれんぼ)について振り返る。</p> <p>じどう車はかせになって じどう車ずかんをつくらう。</p> <p>○知っている自動車について、発表する。 ○「じどう車ずかん」(じどう車カードを束ねたもの)を作るための学習計画を立てる。 ○「じどう車くらべ」の範読を聞く。 ○調べたい自動車を各自1つ決めるため、図書館にある自動車に関わる図鑑を読む。(じどう車カード①の作成に向けて)</p>	<p>○学習課題の確認</p> <p>○内容の把握 ○「じどう車カード」の書き方</p> <p>○図鑑の読み方</p>	<p>○自動車への興味をもたせるために教科書の挿絵や自動車が動く様子がわかる動画を見せる。</p> <p>○「じどう車ずかん」を教師が提示し学習課題への関心を高める。 ○「じどう車カード」にまとめる自動車は、児童の生活に身近な「救急車」「消防車」「パトロールカー」「ショベルカー」「ブルドーザー」「移動販売車」「ごみ収集車」の7つから選ぶようにする。</p>	↓	
2	<p>といの文を 見つけよう。</p> <p>○問いの文や出てきた自動車を確かめ、内容の大体を捉える。 ○問いの文の語尾には「-か。」があることを見つける。</p> <p>○「じどう車くらべ」の問いが「しごと」と「つくり」であることを読み取る。</p> <p>○「つくり」が2つ書かれており、内容に関わりの深いものから説明されていることを読み取る。</p>	<p>○内容の把握</p>	<p>○教科書の2つの問いを線で囲むことで「しごと」(赤)と「つくり」(青)について聞いていることを捉えさせる。 ○問いのぶんが 見つからない場合は既習の説明文(つぼみ、うみのかくれんぼ)について振り返り、「-か。」の文であることに気付かせる。 ○問いを確認することで「しごと」と「つくり」を読み取ることを確認させ、学習の見通しをもたせる。 ○教師作成のエラーモデルを比較対象として提示して、「つくり」の順序性について気づかせる。</p>		
<p>【思考・判断・表現①】 記述、観察 「しごと」と「つくり」の説明の順序を押さえながら読み、教材文の内容を把握しているか確認する。</p>					
3	<p>「じどう車カード①」にまとめるじどう車を えらぼう。</p> <p>○学校図書館にある自動車に関わる図鑑を読み、「じどう車カード①」にまとめる自動車を選ぶ。</p>	<p>○図鑑の読み方 ○情報と情報の関係</p>	<p>○教科書の教材文の問いを想起させ、「どんなしごとをしていますか。」「どんなつくりになっていますか。」の2つの問いについて探しながら読み、自分が書きたい自動車を選ぶように声掛けする。</p>		
<p>【知識・技能】 観察 「しごと」と「つくり」の関係に気を付けて読んでいるか確認する。</p>					

4	<div data-bbox="225 85 831 141" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> じどう車カード①を つくってみよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書の教材文の2つの問いとその答えとなる「しごと」と「つくり」を読み取り、今の力で「じどう車カード①」を書いてみる。 →第8時で加筆修正していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事例の順序 ○情報と情報の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ○「しごと」と「つくり」、「そのために」を入れることを条件にして、図鑑を読みながら作成させる。 ○図鑑は、事前に必要分コピーし、一人一部配布して調べさせる。 ○児童の読む力・書く力を把握し、5～7時の学習に生かす。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【知識・技能】 記述、観察 「しごと」と「つくり」の関係に気を付けて読んでいるかを確認する。 </div>				
5	<div data-bbox="225 629 1123 685" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> バス、じょうよう車の「しごと」と「つくり」を見つけて まとめよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○バス・乗用車の動画を視聴し、バスと乗用車のイメージを広げる。 ○教材文から「しごと」と「つくり」を読み取る。 ○図鑑からバス・乗用車の「しごと」と「つくり」を調べる。 ○「じどう車カード②」に図鑑から読み取ったバス、乗用車の「しごと」と「つくり」を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○内容の把握 ○重要な語句や文の選択 ○情報と情報の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ○「しごと」（赤色）と「つくり」（青色）を分けて捉えるために、色分けをする。 ○「そのために」が「しごと」「つくり」の2つの情報をつなぐ役割をしていることを確認する。 ○全員同じ図鑑のコピーを用いて調べることで、バス、乗用車の「しごと」と「つくり」の内容や「しごと」をするために、なくてはならない「つくり」について理解を深める。 ○4時間目に作成した「じどう車カード①」と5時間目に作成した「じどう車カード②」を比べ、に足りないものを見付けさせる。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【思考・判断・表現②】 記述、観察 「しごと」と「つくり」について、重要な語句や文を選んでいるか確認する。 </div>				
6	<div data-bbox="225 1402 1129 1458" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> トラックの「しごと」と「つくり」を見つけて まとめよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○トラックの動画を視聴し、トラックのイメージを広げる。 ○教材文から「しごと」と「つくり」を読み取る。 ○図鑑からトラックの「しごと」と「つくり」を調べる。 ○「じどう車カード②」に図鑑から読み取ったトラックの「しごと」と「つくり」を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○内容の把握 ○重要な語句や文の選択 ○情報と情報の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ○「しごと」（赤色）と「つくり」（青色）を分けて捉えるために、色分けをする。 ○「そのために」が「しごと」「つくり」の2つの情報をつなぐ役割をしていることを確認する。 ○全員同じ図鑑のコピーを用いて調べることで、トラックの「しごと」と「つくり」の内容や「しごと」をするために、なくてはならない「つくり」について理解を深める。 ※6～7時間目の学習では、その時間の目標を達成した児童は、次の自動車についてまとめさせる。7時間目は、自分が図鑑に載せたい自動車についてまとめる。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【思考・判断・表現②】 記述、観察 「しごと」と「つくり」について、重要な語句や文を選んでいるか確認する。 </div>				

7	<p>クレーン車の「しごと」と「つくり」を見つけて まとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○クレーン車の動画を視聴し、トラックのイメージを広げる。 ○教材文から「しごと」と「つくり」を読み取る。 ○図鑑からクレーン車の「しごと」と「つくり」を調べる。 ○「じどう車カード②」に図鑑から読み取ったクレーン車の「しごと」と「つくり」を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○内容の把握 ○重要な語句や文の選択 ○情報と情報の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ○「しごと」(赤色)と「つくり」(青色)を分けて捉えるために、色分けをする。 ○「そのために」が「しごと」「つくり」の2つの情報をつなぐ役割をしていることを確認する。 ○全員同じ図鑑のコピーを用いて調べることで、クレーン車の「しごと」と「つくり」の内容や「しごと」をするために、なくてはならない「つくり」について理解を深める。 	
<p>【思考・判断・表現②】 記述、観察 「しごと」と「つくり」について、重要な語句や文を選んでいくか確認する。</p>				
8	<p>「じどう車カード①」のないようを見なおして、かんせいさせよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今までの学習の振り返りをする。 ○第4時で作成した「じどう車カード①」の内容を見直す。 ○教材文や図鑑を読み直したり、同じ自動車を選んだ友達と話し合いをしたりしながら加筆修正をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○重要な語句や文の選択 ○情報と情報の関係 ○簡単な構文 ○記述の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時まで教材文や図鑑を読んで、「じどう車カード」にまとめてきた内容を振り返るとともに、読んだり書いたりした時のポイントを確認する。 ○第4時で作成した「じどう車カード①」の内容を見直し、「しごと」をするために、なくてはならない「つくり」を選び抜き、書いているか考えさせる。その際、よくまとまっている「じどう車カード①」も紹介する。 ○教材文や図鑑を読み直し、足りない部分を書き出す。 ○同じ自動車を選んだ友達を話し合いながら加筆修正するよう促す。 	
<p>【主体的に学習に取り組む態度①】 観察・記述 進んで文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、学習課題に沿って、教材文や図鑑を読んでいるか確認する。</p>				
9 10	<p>じどう車カード③を つくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「じどう車カード③」にまとめた自動車を選ぶ。 ○図鑑で自分が選んだ自動車の「しごと」と「つくり」について調べ、まとめる。 ○同じ自動車を選んだ友達と、各自が作成した「じどう車カード③」の内容について確認し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○重要な語句や文の選択 ○事柄の順序 ○簡単な構成 ○記述の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ○「しごと」が見つけれない児童には、教科書に戻り、その自動車ができることや「～のしごとをしています。」につながる文や語句について確かめるなどして、読みを支援する。 ○「つくり」が見つけれない児童には、教師が用意した簡素にまとめられた図鑑のコピーを使用し、「しごと」「つくり」が書いてある場所を一緒に丸で囲ったり、書き写したりできるよう支援する。 ○自分で進められる児童は、調べたい自動車を複数決めてもよいことを助言する。 	
<p>【思考・判断・表現③】 記述 事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、「じどう車カード③」を書いているか確認する。</p>		<p>【主体的に学習に取り組む態度①】 記述、観察 粘り強く、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて、学習の課題に沿って「じどう車カード③」を書いているか確認する。</p>		

<p>11</p> <p>本時</p>	<p>じぶんの「じどう車ずかん」にのせる「じどう車カード」のならばかたを かんがえよう。</p> <p>○教科書の教材文に出てくる自動車の順序を話し合う。</p> <p>○自分たちの「じどう車ずかん」にのせる「じどう車カード」の順序を考える。</p>	<p>○順序による情報と情報の関係</p>	<p>○教科書の教材文は、身近な自動車から順に出てきていることを押さえる。</p> <p>○自分が伝えたいことをよりよく伝えるための順序を考えさせる。</p>	
<p>【思考・判断・表現③】 観察 事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、「じどう車カード①②③」を並べているか確認する。</p>				
<p>12</p>	<p>かんせいした「じどう車ずかん」のよいところを つたえあおう。</p> <p>○「じどう車ずかん」を読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>○単元全体を振り返り、まとめる。</p>	<p>○交流の仕方</p>	<p>○互いの「じどう車ずかん」を読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>○単元のため「じどう車はかせになってじどう車ずかんを作ろう」を確認し、単元を通して身についた力やできるようになったことを振り返らせる。</p>	
<p>【主体的に学習に取り組む態度①】 記述、観察 粘り強く、学習の課題に沿って「じどう車ずかん」を読み合い、感想を伝えているか確認する。</p>				

9 本時の学習指導（本時11／12時間目）

(1)目標

自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。

(2)評価規準

自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序を考えながら簡単な構成を考えている。

【思考・判断・表現】B(1)イ

(3)展開

	学習活動	学習内容	・指導上の留意点 <>評価の観点 【】研究の手立て	時間	
導入	1 ペアトークをする。	○交流の仕方	<ul style="list-style-type: none"> 児童が自分の考えを友達に伝えやすいように、児童にとって身近なテーマを設定する。 前時までの学習を想起させ、本時の学習課題を設定する。 	5分	
	2 前時を振り、本時の学習課題を知る。				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> じぶんの「じどう車ずかん」にのせる「じどう車カード」のならばかたをかんがえよう。 </div>					
展開	3 教材文の並び方について考える。	○順序による情報と情報の関係	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の教材文の並び方について、身近な自動車から順に出てきていることを確認する。 なぜ身近な自動車から出てきているのか考えさせ、筆者の意図を押さえる。 児童が次の学習活動に円滑に取り組めるように、順序の根拠を板書に残しておく。 自分がどのような図鑑にしたいか考え、順序を並べ換えるように声掛けする。 	7分	
	4 自分が作ったじどう車カードを並び換えて、「じどう車ずかん」を完成させる。	○根拠に基づいた順序	<ul style="list-style-type: none"> 児童が事柄の順序性を意識できるように、机間指導の中でどうしてその順序にしたのか、問いかける。 自分が作ったじどう車カードを並び換えた児童から、友達と理由を交流させる。 	7分	
				<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <評価規準> 【思考・判断・表現】<u>観察</u> 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序を考えながら簡単な構成を考えている児童をBとする。 <「努力を要する」状況(C)への手立て> ・板書を参考に順番をならべるように声掛けをする。 </div>	
	5 グループで自分のじどう車ずかんの説明をする。	○図鑑の説明の仕方	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに自分が作ったじどう車カードの並び方について交流させる。友達の図鑑について説明できるように聞くことを伝える。 	13分	
				<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【手立て① 自分の考えをもつ】<u>観察</u> [十分到達している児童(A)の姿] カードの順序について根拠を自分の言葉で説明している。 [「努力を要する」状況(C)への手立て] ・板書を参考に順番をならべるように声掛けをする。 </div>	
	6 全体で並び換えたじどう車カードについて話し合う。	○交流の仕方	<ul style="list-style-type: none"> どんな思いで並び換えたのか、全体で交流しまとめる。 	8分	
終末	7 本時の振り返りをする。	○振り返りの視点	<ul style="list-style-type: none"> 次時に意欲をもてるように、本時の学びを振り返らせる。 授業でわかったこと（できたこと）、楽しかったこと、もっと知りたいこと（やりたいこと）の視点で振り返るようにさせる。 	5分	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <期待される児童の振り返り> ・友達の順序を知れて楽しかった。 ・友達のじどう車ずかんを読んでみたい。 </div>				

(4)板書計画

